

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり6票、 拡充3票、手法等の 見直し1票、廃止1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金があるからヘルメットを購入しているのか、不明。 ・親でも対応できる様なことより他にもやることがあるではないか。 ・是認できる、このまま継続してほしい。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助上限の見直しが必要だと感じた。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境課所管の補助への統合あるいは運用(内規)の見直し等を効率的な事務執行を目的として検討されたい。 ・他部署との事務手続きの簡略化についての議論は、住民にとっての窓口一本化という視点でも重要かと思う。 ・未利用の方がいる場合、その理由を調査するなど、ニーズ調査の必要性はあると思う。 ・金額について妥当か、毎年、内規千円が妥当なのか検討して頂きたい。 ・事故が発生しやすい道などに注意喚起物を設置する、車などのスピード抑制に資する設置物を置くなど「車側」へのアクションに変えることで本来目的の交通事故抑制を図ったらと考えるが、別途他課と連携して取り組みあるとのことなので、ニーズがあるとすれば継続可、ただし「目的」について違和感あり、ニーズが本当にあるか。検討すべきと考える。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上限の見直しが必要だと感じた。 ・啓発の意味と安全確保の為両面あると思うが、ヘルメットの重要性を再認識出来る取組にすれば良いと思う。 ・通学での安心安全のためにも色々な角度から継続・拡大をしてほしい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>自転車通学に係る費用負担の軽減を図るため、これまでどおり事業は継続しますが、必要に応じて、補助額の見直しや事務の効率化等を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該補助金がより効果的で使い勝手の良い制度となるよう、利用者のニーズを確認し、学校現場の意見を聞きながら、補助額などを検討します。 ・効率的な事務執行につきましては、「自転車用ヘルメット購入費補助金」を所管する生活環境課と協議するとともに、当該補助金の事務を担っている学校現場の意見も聞きながら、検討します。 ・今後事業を継続していく中で、継続的に効果検証を行い、見直しの機会とするため、終期を設定します。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり9票、 手法等の見直し1 票、廃止1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がおらず検証が難しい。 ・目標値の半分の成果ではあるが補助金の目的と趣旨は必要な事業として位置づけられている。 ・是認できる、継続してほしい。 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年実績がないと認識をし、必要性があまり感じられなかった。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の情勢変化(バス・タクシー事業者の撤退等)をみながら市民が有効に使える制度としていただきたい。 ・ニーズ調査を行うこと、外部委託や制度上の改善を見直してほしい。部活動の地域移行にも対応を検討してほしい。 ・小中学校への交通手段を確保することまでを市の責任としていただくことが必要かと思う。タクシー業界等も、市の委託であれば続けられるということもあるのではないかと思う。またはライドシェアなども活用可能だと思う。 ・事業者の動向に備えたもので、当面残しておく。 ・今後これまで以上に想定出来ない事も起こりうるので臨機応変に対応をお願いしたい。 ・近年、支給実績がないのであれば、この補助金事態を見直すことも必要ではないかと思うが、当面は現行の補助金等を継続していく。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、実績がない補助金を評価することは難しい。路線廃止とならないような抜本的な解決が必要だと考える。 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績がないこと、今後も需要があるとは感じられない。各学校からの距離を考え、今後利用する可能性を具体的な数値である程度把握して頂きたい。 ・デマンドタクシーやスクールバス、部活動もふまえた、実状に沿った補助金に移行すべき。 ・路線バスの廃止後は、スクールバスなどに移行すべき→家族の負担になると思われる。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>今後、事業者等の路線廃止等により、バスやスクールタクシー等で対応できなくなった場合のために、これまでどおり制度は継続しますが、必要に応じて、制度の在り方を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事業者等を取り巻く情勢の変化などに適切に対応できるよう、交通事業者等の動向を注視しながら、遠距離通学を行う児童生徒の実情に即し、様々な手段を検討しながら、遠距離通学の交通手段の確保に努めます。 ・今後事業を継続していく中で、継続的に効果検証を行い、見直しの機会とするため、終期を設定します。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり10票、拡充1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金額の妥当性がある。 ・各団体別の助成内訳あり。 ・現行どおりで問題ないと思う。 ・是認できる、継続してほしい。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理の更新に合わせて額の精査をお願いしたい。 ・繰越金・余剰金の確認をしてほしい。 ・特に佐久市として推進していくスポーツなどに集中して振分けしていくなど色を出して良いのではないか。一方で多様の競技に利用されており有益ともいえる。 ・令和9年に見直し予定とのことなので、その際に精査されたい。 ・これまでは行われなかった大会等への補助もよく検討して実施して頂きたい。 ・質疑でもありましたが、補助金が何に使われたか詳細を(交際費、飲食など不適切な使用がないか)毎年大変かもしれませんがチェック体制をしっかりと行って欲しい。 ・未利用の時の理由をきいていくことが大切だと思う。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団などの子供たちが取り組む競技団体の支援になるよう、範囲・金額の拡充を図ってほしい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の使途確認方法を確立します。 ・既存スポーツ団体の状況や新たな競技団体設立等について情報収集し、新規団体への補助や必要に応じた対応をします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金チェックリストを作成し使途確認を行います。 ・既存スポーツ団体の活動状況や活動費の状況を確認するほか、新たな競技団体設立等について情報収集を行う。既設団体への補助額の増減等について調整、新規団体への補助を検討し必要に応じ補助します。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり10票、 廃止1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行どおりで問題ないとする。 ・とても必要性の高い補助金だと思う、継続してほしい。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報の充実、概当する事業所名について事業所との連携のもとで公表があるとより申請がしやすくなり、就職にもつながりやすくなるのではないかと思う。学生は情報が豊富にあると選択しやすくなると思う。 ・制度の周知に力を入れていただきたい。 ・企業側への周知方法について具体策を検討すべきと考えるが、そのまま継続は可とする。 ・現行どおりで問題ないとする。 ・人材確保の一助となる補助で有り、今後更に運用が進めばより良いと思う。 ・企業、学生共に補助金の対象として該当するかわかりやすいアピールが必要と感じた。 ・現行の補助金等を継続、企業への周知、利用しなかった理由の調査もしても良いのではと思う。 <p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃止とし、周知方法を見直し

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>利用者を増加させるため、学生や市内企業への周知方法を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現行通り補助を継続していく中で、現在行っている市ホームページや市公式SNS等での学生向けの広報活動に加え、市内企業へ向けた広報を行います。 ・具体策としては、上記の各種広報媒体での企業向けの情報配信のほか、市が事務局を務めている「佐久職業安定協会」の会員事業所への周知、各種就活イベント等に参加した事業所への周知などを検討します。 ・概当事業所の公表についてご意見をいただいておりますが、市内全ての事業所の状況を把握することは難しいため、こちらで把握できた情報については引き続き発信をしていきます。 ・補助を利用しなかった理由の調査についてご意見をいただいておりますが、現状、インターンシップを実施して補助を利用しなかった方を把握することは困難なため、多くの学生に利用してもらえるよう、周知活動に力を入れていきます。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり6票、 手法等の見直し4 票、拡充1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金を受けた事業者自ら、効果検証をしっかりとっていただきたい。 ・現行どおりで問題ないとする。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに効率的な手法による実施が考えられるのではないか。 ・事業者のニーズも多様化しているため見直しが必要、市からの展示会への見学などもあっても良いのではと思う。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の展示会について、1ブースに共同出展する場合、JETRO等の共同ブースに単一出展する場合でも対象にして欲しい。 ・積極的に制度の周知を願います。効果の追跡調査の実施を検討されたい。 ・佐久がにぎやかになることへの一助だと思うので(観光含め)続けて頂きたい。会長のおっしゃった通り、効果については検証して頂きたい、簡単なアンケートを1年たった所でやるなどの検討が必要と考える。 ・件数も多いことから必要性が感じられる。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的評価をどのようにするかを検討が必要かと思う。 ・市と企業の公益が合致し拡大継続多様化しているニーズの見直し。 ・その後の成果が得られるよう、手法等の見直しをしていく、どんな効果があったのかを追って見ていく必要性もあるのではないか。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示会の種類多いため、その内容や中身を把握して同業者にも宣伝するなど参加を促す(補助もする)のも振興に大切。 ・海外販路(アジアなど)は経費が多額であり補助は有益、一方で八十二リンクナガノ国際部等からの情報提供(開催についてなど)も必要と感じた。(民間の力も借りて有益なものにする)

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>国内外の販路拡大を図るため、これまでどおり事業は継続しますが、効果検証・周知方法の見直しや、必要に応じた補助内容の見直しを検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を受けた事業者から、通常の報告以外にも聞き取り等を実施し、事業実施後すぐには表れない効果や課題等の把握や検証について検討します。 ・既存のHPやチラシによる周知の拡充を図るとともに、商工団体や関係機関等を通じた周知について検討します。 ・ニーズの多様化や費用の増大等の状況変化を踏まえつつ、必要に応じた補助内容の見直しを検討します。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり 11票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妥当性が見られる。 ・経費といっても人件費、交際費等多岐、児童の処遇向上につなげるのが目的なら使途確認は必要でないか(本来私立は自助努力すべき)。 ・現行どおりで問題ないと思う。 ・継続してほしい。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからもニーズは大きくなると思う。 ・運営者との意見交換等を十分に行っていたら、事業に反映してもらいたい。 ・広く市民に周知拡大の制度改善、健全運営の向上をしてほしい。 ・「経費」といっても様々、補助する以上詳細な使途の報告は受けていくべき(例えば保証協会は運転、設備、など使途毎に詳細な確認を必要とする)。 ・現行どおりで問題ないと考えます。 ・詳しくなくても良いので、どのようなことに使われているか(ハード面かソフト面かなど)該当施設にアンケートをとることは適正な使用か否かを判断するために必要かと思う。 ・現行の補助金等を継続していく。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所等の健全運営を支援するため、事業者のニーズも把握しながら、事業を継続する。 ・補助金の使途確認についてその方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所等の健全運営に資する支援制度とするため、施設運営の現況や支援内容等についてのニーズを確認する。 ・補助金の使途を確認する必要があるとのご意見を踏まえ、実績報告の際に、使途が確認できるような添付書類の検討を行い、申請者に添付を求める。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり11票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行どおりで問題ないとする。 ・継続してほしい。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営者との意見交換を十分に行っていただき、事業に反映してもらいたい。 ・幼児教育の重要性、運営の安定化を図ってもらいたい。 ・現行どおりで問題ないと考えます。 ・補助金の使われ方については、しっかりと確認をお願いしたい。 ・使途の確認もセットすべきと思われる。 ・評価番号6「私立保育所運営費補助金」と同じですが、補助金を何に使ったか簡単にでも内容を把握すべきではないかと思う。 ・現行の補助金等を継続していく、どのように使われているのかは明らかにしても良いのではないかと思う。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の教育振興を支援するため、事業者のニーズも把握しながら、事業を継続する。 ・補助金の使途確認についてその方法を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園の教育振興に資する支援制度とするため、施設運営の現況や支援内容等についてのニーズを確認する。 ・補助金の使途を確認する必要があるとのご意見を踏まえ、実績報告の際に、使途が確認できるような添付書類の検討を行い、申請者に添付を求める。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり7票、手法等の見直し2票</p>	<p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しあるいは縮小しても良いのではと思う。 ・補助対象の基準がもう少しきっちりした方が良いと思う。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の方々が地域をどうみているかについては評価としても活用しうらと思う。追跡調査をしてデータ収集することは有意義と思われる。 ・現状どおりと評価するが、効果検証のため、その後の起業・定住状況等について確認調査を検討されたい。 ・明確な審査基準を定めて適切に運用していただきたい。 ・定住につながるような対策を他と連携しながら進めて頂きたい。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業者の定住化に向けた取り組みの強化。 ・PR活動の推進、補助対象経費の見直しが必要だと思う。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>適切な補助金の交付を行うため、審査基準の作成等を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、あわせて定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献してもらう取組であり、その趣旨に則り、補助金交付による効果検証や定住状況等の確認を行うため、アンケート、追跡調査等を含めて、補助金の有効性の評価等について検討します。 ・現行どおりとの評価の一方で、補助対象経費に関する明確な審査基準を定め、適切に運用するようとの意見を踏まえ、他市町村等の運用状況等について情報収集を行い、審査基準を検討します。 ・本補助金の要綱には終期の設定がないことから、今年度中に要綱の改正を行い、終期の設定を行います。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり6票、 手法等の見直し3票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても身近なものなので、有効に使ってほしいと思う。 ・多くの市民の協力を得て、地道な事業を行っている。 ・現行どおりで問題ないと思う。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直しが必要と感じる。 ・事務経費にかかる金額が大きい が、地域にわかり易く活動が見えない。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行どおりで問題ないと思う。 ・現行どおり継続して行ってほしい。 ・現行どおりとするが、事務の簡素化・効率化(支出科目の統合等)について検討されたい。 ・地区ごとに細かな対応が必要な活動だと思います。補導委員の方の活動の負担が少なくなるよう(若い人も参加しやすいよう)様々な取り組みを行って頂きたいです。活動内容について、市民に分かりやすく提示してもらいたい。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金に対しての具体的な活動を提示をして行って欲しい。 ・市全体を一律の活動にする必要があるのか、地域によって特色ある活動に差があってもよいのではないかと、活動内容の点検が必要なのではないかと思う。 ・「地区＝住民」のための活動となるので、事業の見える化をして欲しい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>保健補導員会活動に係る事務の簡素化や活動内容の市民周知方法を見直します。</p>	<p>支出科目を精査し、補助金の統合や事務の簡素化について検討します。 各地区の保健補導員が主体となり、地域ごとに特色ある活動ができるような支援に努めます。活動内容や成果については、回覧板やホームページ等を利用して市民周知を図っていきます。</p>

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり8票、手法等の見直し1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全な食の提供に寄与する補助金だと思う。 ・現行どおり進めて頂きたい。 ・現行どおりで問題ないと思う。 ・とても必要性の高い補助金だと思う。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支出項目の地域差がある。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続してほしい。 ・適切な利用を感じた。質疑にあった繰越金について、今後検討されたい。 ・食品に対する安心安全の意識向上に力を入れていただきたい。繰越金についての年度内の検討をお願いしたい。 ・各支部の活動内容に大きな差異が生じないよう取組が必要。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要な経費を明確にし、各地区の統合を進めてほしい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>食品衛生協会の各支部が実施する食中毒予防などの食品衛生事業を引き続き支援してまいります。</p>	<p>引き続き食品衛生向上のための料理講習、食中毒及び感染症予防等に要する経費について、補助金を交付してまいります。</p> <p>なお、現行通り事業を進めていく中で、食品衛生協会各支部が実施する補助対象事業の収支が適切に行われているか、確認してまいります。</p> <p>上記評価における各協会の決算書に関するご指摘の点ですが、本補助金は個々の活動事業に対して交付されるもので、各支部の繰越金の取り扱いや、各地区の統合計画といった、協会全体の管理運営に関わる事項につきましては、本補助金の趣旨とは異なるものと考えます。</p>

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>手法等の見直し</p> <p>※手法等の見直し6票、縮小2票、完了1票</p>	<p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が事務局を務めている特定団体へ固定費を補助する事業となっていること。 ・事業の内容が、市全体の農業振興に資する内容となっているのか検証が必要。 ・コロナ禍期間中の補助金交付により繰越金が増加したことは、市の事務処理上の問題がある。 ・少人数の団体であり、事業目標達成をしっかりとこなしている感はある。 ・入会しない農家の理由が何か気になる。 ・とても大切な補助金だが見直す部分があるように感じた。 	<p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金名が実態と合っているか疑問に思う。団体の活動への補助金で「後継者育成活動」と言えるのか、確認が必要かと思う。 ・団体の自主的活動を推進していく必要があり、その目的に合致する他の補助金に移行すべきである。 ・市民に伝わる活動として、又、農業の特色(佐久市の)を示せる運営を望みたい。 ・適宜、内容について見直し、業務の効率化を図っていただきたい。 ・「育成」という言葉を使うならもっと積極的な活動(SNSなど)を行うべき。 ・入会しない農家の理由が何か気になるため、ニーズ調査を検討されたい。 ・今の実態にあった活動を検討する必要があると思う。 <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な指導や助言の行政の関与が必要だと感じた。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>手法等の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在設定している補助金終期(令和9年3月)に合わせ、補助対象団体の活動内容等に鑑み補助手法の見直しを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象事業の明確化を図るため、活動実態を踏まえ現状の団体育成運営補助金としての性質でなく、事業費補助金としての支援が可能か検討を行います。 ・補助金とともに、補助対象団体である佐久市耕友会の活動について、市の農業振興により資する活動となるよう、実施内容等の見直しを行います。 ・新規会員の勧誘及び活動内容の周知を積極的に行うとともに、加入いただけない場合の要因を確認し、会の活動内容等への反映を図ります。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり5票、 手法等の見直し2 票、縮小2票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政策転換の方向性が不明確であり状況を注視する必要がある。 ・現行どおりで問題ないと思う。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の内容については良いと思うが、取組のさらなる見直しが必要だと思う。 <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状水稲米が不足しているので転嫁はありえなくなるのではないか。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不作になってしまった場合などの需要と供給のバランスがとても難しいと感じた。低価格にならない工夫も必要でしょうし、各所と連携して進めて頂きたい。 ・国の政策転換を踏まえて、市民ニーズに合った補助支出をしてほしい。 ・農家が米作りを継続できる支援が必要だと思います。ニーズに応じて農家が方針を決めることができるしくみが良いと思う。 <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食用米の確保ありきの対策をすすめて欲しい。 ・行政の方向性を変動を踏まえて見直しが必要だと感じた。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>国の政策の動向を注視しながら、国や県から示されるコメの生産調整目標を達成できるように、現行どおり継続します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域実情に応じた取り組みを支援できるように、JAと連携を図りながら取り組んでまいります。 ・今後事業を継続していく中で、継続的に効果検証を行い、見直しの機会とするため、終期を設定します。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p style="text-align: center;">廃止</p> <p>※廃止6票、手法等 の見直し2票、完了 1票</p>	<p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度の違った形での米に限らずブランド化できる施策ができないか。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃止に向かっているようだが、継続してほしい。 	<p>【廃止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展的な廃止を期待している。イベント実施だけでなくブランド化に伴う流通の確保や販売網の確保などができれば今後の強みになるのではないかと思う。 ・廃止の方向で進めて頂きたい。 ・米問題が今後どうなるのか難しいが、一旦廃止とし、必要になった場合、別枠で検討したらよいのではと思う。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米のブランド化は、行政の主体的な取り組み、支援が必要と考えられる。現行制度に代わる支援方策を検討されたい。 ・今までの取組がなくならないように何か検討してほしい。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p style="text-align: center;">廃止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規需要に対する供給が困難なことから、一旦、廃止として、必要に応じて新たな制度を構築してまいります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本補助金は、米消費の減少、米の過剰生産から米のブランド化における販路拡大を図るため実施してまいりました。これまでの活動から目的に一定の効果が認められ、安定的な販路の確保がされていると考えられます。 ・一旦、令和7年度をもって廃止とし、今後、米を取り巻く情勢やニーズ等を考慮し、必要に応じて新たな制度を構築してまいります。

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p> <p>※現行どおり5票、 拡充3票、手法等の 見直し1票</p>	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの地産地消への意識を高める効果があると思う。 ・現行どおりで問題ないと思う。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても重要な補助金と感ずるため、継続してほしい。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状対応の難しい面もある。 	<p>【現行どおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家にとってのメリットをアピールすることで、応援団のメンバーが増える可能性があるのではないかとと思われる。 ・安全な地元産食材を、今後も引き続き学校給食へ供給できるよう団体を支援してほしい。 <p>【拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の食材に対して安心安全な提供をすることと質の良いものを安定供給できるよう活動の支援をしてほしい。 ・市民としては、地元農家の方に頑張ってもらいたいと思うが、補助金額が少ない印象を受けた。配達するガソリン代など、必要経費を拡充して農家さんが参加しやすい体制作りをお願いしたい。 ・子どもたちと応援団の方との交流などをもっとして欲しいと思いました。学校によって差が大きいのではないと思う。 <p>【手法等の見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食応援団活動は、食材の提供に留まらず、食育・伝統料理の継承を担っていると考えます。 ①後継者育成活動支援事業との連携で、若手農業者が給食に貢献できる農作物生産と食事文化の継承 ②地域おこし協力隊の地域外の方の視野で、学校給食への提案(食材提供)からの定住定着以上のような連携がとれるのではと考えます。それによって、学校教育と、地域住民との食育活動(米作り、地元野菜作り、新たな食材、伝統料理)更には、給食経費の低減につながる活動になればと考えます。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>現行どおり</p>	<p>学校給食へ地域食材の提供し、地産地消を推進するための施策の一つとして一定の効果認められるため、現行どおり継続します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食応援団が農作物等の安定供給及び品質向上を図れるように活動に対しての相談や支援してまいります。 ・新規団員を確保するため、農政課で実施している野菜栽培講習の参加者等に周知を図ります。 ・学校給食食材への関心を高めるため、応援団と児童・生徒との交流が図られるように、学校や学校給食応援団と情報共有を図ってまいります。 ・今後事業を継続していく中で、継続的に効果検証を行い、見直しの機会とするため、終期を設定します。